

区営住宅等の指定管理者候補者の選定理由について

区営住宅等に係る指定管理者については、公募により 5 法人から申込みを受け、選定委員会において審査のうえ東京都住宅供給公社を候補者として選定した。選定した主な理由は次のとおりである。

1. 計画修繕に関して設けた課題（既設区営住宅へのエレベーター設置）への検討
スロープ設置等バリアフリー対策、工期の設定、日影規制等建築基準法上の検討
などが適切に行われている。
2. 建物管理や維持修繕に係る経費節減等効率的運営
住宅管理業務（小規模修繕、設備保守等）に関する経費試算額が最も低廉である。
3. 入居者募集や滞納使用料督促業務の実施方法
入居者募集については、広報活動や相談体制、抽選の方法などが具体的に提案されている。
督促業務については、文書、電話及び訪問による居住者への督促業務の実施方法
やその際の留意点等について具体的に検討されている。
4. 休日・夜間等緊急時の連絡体制
休日・夜間等に区営住宅等で発生する電気・ガス・水道等の緊急修繕工事に対応
するため、専門の部署（夜間・休日センター）を設け受付要員を配置するなどの
体制を整えている。
5. 地域貢献
修繕工事等について地元事業者を活用する方針が示されている。なお、他の 2 法人
からも同様の提案がされている。